

2014(平成26年)
SPRING

高輪 だより

同窓会報

第42号

今号の主な内容

- 1頁 各種催しのご案内
- 2頁 たかなわ会会長あいさつ
寄稿「高輪校舎草創期回顧録」
- 3頁～5頁 高輪校舎だより、クラス会・OB会レポート
- 6頁～7頁 たかなわ会からのお知らせ
- 8頁 電波塔



懐かしい学び舎で定時総会を開催しました(2013年5月28日、東海大学高輪校舎)

INFORMATION

「たかなわ会」は東海大学同窓会の公認団体です

- **たかなわ会総会**
日時：2014年5月27日(火)午後6時30分～
会場：東海大学校友会館
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階
電話：03-3581-0121(代表)
引き続き同場所で懇親会
会費：3,000円
- **東海大学同窓会東京ブロック南部支部納涼会(協賛)**
日時：2014年8月8日(金)午後5時30分～
会場：東海大学校友会館
会費：5,500円
- **高輪建学祭**
日時：2014年11月1日(土)～3日(月・祝)
午前10時～午後5時
会場：東海大学高輪校舎
- **たかなわ会 第2回高輪カミングデー**
日時：2014年11月2日(日)午後5時～
会場：東海大学高輪校舎4号館地下1階 コメドール
会費：3,000円
- **東海大学同窓会 第14回ホームカミングデー**
日時：2014年11月3日(月・祝)午前10時～
会場：東海大学湘南校舎
神奈川県平塚市北金目4-1-1
電話：0463-58-1211(代表)
- **第16回松前仰杯争奪ボウリング大会(個人)**
第4回情報通信学部長杯争奪ボウリング大会(団体)
日時：2014年12月14日(日)午後1時～
会場：品川プリンスホテル・ボウリングセンター
東京都港区高輪4-10-30
会費：2,000円
▽忘年会・表彰式 午後4時～
会場：カルネステーション銀座店
東京都中央区銀座8-10 銀座ナイン3号館地下1階
会費：3,500円
- **たかなわ会役員会**
第1回 2014年5月10日(土)午後3時～
第2回 2014年9月27日(土)午後3時～
会場：いずれも東海大学高輪校舎会議室

より身近な たかなわ会を目指して



たかなわ会
福田 力 会長

会員の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

たかなわ会は2009年4月の東海大学同窓会統合以来、12年6月まで任意団体として活動してまいりました。その精神は、1937年に高輪の地に電気通信工学校が開校されてから諸先輩が築かれてきた伝統と実績を、新たな歴史を創る情報通信学部を引き継ぐことにあります。そうした活動が東海大学関係各位の皆さまに認知され、たかなわ会は新たに同窓会公認団体として再スタートすることとなり、今日に至っております。

*

今年度の重点活動としては、会員組織の拡大を図るためにクラブOB会との連携を進め、東海大学本部と高輪校舎の事業施策に積極的に参加し、高輪地域の皆さまとの新たな関係の確立や高輪建学祭の支援などに取り組んでま

いりました。

その一環として、地域のボランティア活動を目的に活動している東海大学チャレンジセンター「Takanawa 共育プロジェクト」と協力して高輪神社の祭礼に参加。建学祭では、東北復興支援企画として気仙沼の物産品を販売したほか、マグロの解体ショーも企画。教職員と学部生、会員が一体となり、地域の皆さまも喜んで参加してくださいました。建学祭期間中には、高輪校舎から巣立っていった同窓生が集う企画として「第1回ウエルカムデー」も開催。会員、大学関係者、地域の皆さまなど150人以上の参加者で大いに盛り上がりました。いずれの企画も、今後は恒例行事にしたいと思えます。また、15回目となった松前仰杯争奪ボウリング大会では、故・松前仰先生の奥さまとお孫さんにも参加いただき、例年にも増して感慨深い大会となりました。

*

今後も、同窓生、大学関係者の皆さまのご協力を得て、名簿管理の充実や同窓生勤務先との連携による情報通信学部生への就職活動支援、産学共同テーマの発掘などを進めたいと考えています。

会員の皆さま、東海大学関係者の皆さまに、よりいっそうのご支援をお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

寄稿

高輪校舎草創期回顧録

電気通信工学校第一期卒業生

濱田 暢

卒業以来70余年が過ぎ、92歳になりました。ただただ懐かしい高輪の思い出を記し、たかなわ会の歴史の1ページに加えていただければ幸いです。

◆ 電気通信工学校は、通信省の協力のもと、電気通信学会（現・電子情報通信学会）が設立。恩師はいずれも親身に生徒を愛し、ご指導くださいました。松前重義博士をはじめ、「社会に出て、困り悩むとき、遠慮なく相談に来い」と言ってくださった篠原登先生、校長を務められた小船井敬吉先生、また白井武、高野廣吉、吉田五郎、黒川廣二、岡田成敏、税所正芳、片岡龍、相沢常八、岡島慶三郎、帆足竹治、岩片秀雄



電気通信工学校の正門（現・東海大学高輪校舎通用門付近）

など当代一流の電気通信や物理の諸先生方。「通信工学には高度の数学が必要」と数学者・目良正貫先生の難解な講義や、英文学の小川芳雄先生が物語詩『イノック・アーデン』を「この気持ちわかるだろう」と涙を流しながらご講義いただいたことなどが思い出されます。

同期は、年齢も出身地もさまざまな48人とインドからの留学生1人。3年生のころ、学校の記念行事で最新のフアクシミリや自動電話交換機、光電話などの通信機器を展示し、操作実技を一般公開したところ、訪れた多くの人は初めて見る最先端の技術にただただ驚いていたものです。

私は卒業後、中島飛行機製作所に入社。他の卒業生も通信省や民間企業に就職し、インドからの留学生・エスエスグループは帰国後、日本の通信大臣に相当する役職に就いたと聞きました。が、戦争が起ると連絡が取れなくなり、その後の消息は不明です。

私も戦後は日本電信電話公社に転職。故郷の仙台に着任して、日本初の無線電話局設置を手がけ、定年まで勤め上げました。

私の中には常に恩師の薫陶が根本にあり、母校への誇りがありました。情報通信学部と「たかなわ会」のますますのご発展をお祈り上げます。

※寄稿の一部を要約しました。

全文は、たかなわ会ホームページ

(<http://takanawakai.jp>)に掲載を予定します。

短大時代の高輪校舎の思い出



情報通信学部
情報メディア学科
倉田和夫准教授

短期大学部「高輪」時代から情報通信学部まで、20有余年にわたり教鞭を執られてきた倉田和夫准教授が、2014年3月をもって退職されます。ここに、倉田准教授の指導を受けた卒業生をはじめ会員の皆さまに向けて、特別にご寄稿いただきました。

「たかなわ会」の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は東海大学短期大学部「高輪」の時代から、長く高輪校舎で教員生活をしている者です。このたび、『高輪だより』に「何か書いてほしい」とのリクエストがあり、今までに書かれた方々のそうそうたる顔ぶれを見て一瞬ひるみましたが、短大時代から長らく高輪校舎を見てきた者として、僭越ながらお引き受けいたしました。

* 私は1992年に東海大学短期大学部「高輪」のコンピュータ・イメージデザインコースの教員となり、2008年に短期大学部「高輪」が東海大学に統

合されてからも、情報通信学部情報メディア学科の教員として現在に至っています。

短期大学部「高輪」に赴任する前は、勤めていたソフトウェア会社を飛び出して、いわゆるCGを作る会社を細々とやっていました。

80年代の終わりごろの高輪校舎には、今では信じられませんが中庭に大きな樹木が生い茂っており、その中に木造の平屋の校舎がありました。そこには若手のCG研究者たちが集まり、アメリカから持ち帰った映像の鑑賞会を開いたりしていました。当時から高輪校舎には日本に数台しかないような貴重なCGシステムが導入され、他のどこもやっていなかった先進的なCG教育が行われていたのです。

* そのころに短大から送り出した多くの卒業生たちが、今でも高輪建学祭に遊びに来てくれます。すっかりオジサンやオバサンになった懐かしい顔の彼らと話していると、皆、高輪校舎で過ごした日々をとても大切にしていることがわかります。

多くの卒業生たちが、高輪校舎ならではの素晴らしい思い出を共有し、懐かしく思い出せる素晴らしい同窓会「たかなわ会」が、これからも末永く続いてほしいと願っています。

高輪校舎だより

みこしを担いで交流を深める



高輪校舎で活動する東海大学チャレンジセンター「Takawata」が昨年9月7日と8日、高輪神社祭礼に参加しました。高

輪地区の祭りを中心に活動する「高輪神輿同好会」の協力を得て、毎年参加しているものです。今年は延べ9人の学生が、同好会員や近隣地域の神輿同好会とともにみこしを担ぎました。メンバーは7日、みこしに神霊を込める儀式「御霊入れ」に参加。8日には、みこしを担いで高輪地区を練り歩く「渡御」を行い、地域の方々との交流を深めました。

地域と協力し防災訓練

昨年9月18日に高輪校舎で、学生と教職員らを対象に「2013年度震災訓練」が行われました。首都直下型地震など大規模災害の発生に備え、初期消火や避難誘導、帰宅困難者の受け入

盛んに建学祭を開催



れ準備などの訓練と、「自助」「共助」の意識を高めることを目的に実施されたものです。高輪校舎に近い高輪警察署と同消防署、港区防災課・高輪地区総合支所などの協力で、教職員と学生合わせて約200人が参加しました。

盛んに建学祭を開催

昨年11月1日から3日まで「第5回高輪建学祭」を開催しました。期間中は、留学生による「アラビア文化交流会」が民族衣装の試着体験やアラビアコーヒーの試飲を行ったほか、日本マイクロソフト、グーグル、Unity Technologies Japanの3社によるセミナーや、放送作家・小説家の岩崎夏海氏の講演会など多彩な企画を実施。多くの来場者でにぎわいました。



クラス会・OB会レポート

東海高等通信工学校

昭和33年34年卒合同クラス会(3・4の会)

昨年5月9日正午から、内幸町の東京會館富国生命ビル内の「パビヨン」にて、恒例となっている合同クラス会を開催しました。松本弘先生を囲み、総員8名と少し寂しい会とはなりましたが、集まったメンバーは皆、食欲は旺盛。お酒が入るにつれてにぎやかに話も弾み、高輪の地で机を並べた昔の思い出話に始まり、最後に出てくるのはやはり仲間や各人の健康問題でした。もつとも、元氣だからこそこのように顔を出すことができ、話にも加われるのだと思います。



最近、くしの歯が欠けるように1人、2人と抜けていく仲間の話を聞くのは、大変寂しい限りです。この会は、店のご好意でお酒は飲み放題。例年のことながら、雰囲気の高

さにつられてしまい話に花が咲き、ついつい時間が経つのも忘れてしまいました。

気づくと、本会のメンバーしか店にはいない始末となり、慌てて集合写真を撮り、再会を約束して解散しました。(大竹義則)

高輪ハレーボール部OB会

◆創部45周年記念行事を開催

昨年10月13日に、高輪校舎で高輪ハレーボール部創部45周年記念行事を開催しました。

まず、アリーナで親睦試合を実施。このような行事には毎回、OBたちが家族連れで参加しますが、今回は赤ちゃん連れのOGも多く、母親同士の話も盛り上がっていたようです。いたるところで、ほほえましい光景が見受けられました。

試合は、OB・OGと現役学部生がそれぞれチームを組み、ボールを追いました。現役チームの好プレーはさすがで、一方のOB・OGチームは好プレーもあるものの、時には迷プレーや



珍プレーも。それでも和気あいあいと汗を流しました。皆さん、翌日の筋肉痛は大丈夫だったでしょうか？

その後は「カルネステーション銀座店」に場所を移し、「たかなわ会」から福田力会長、大竹義則副会長にもご出席いただき懇親会へ。それぞれ思い出話に花を咲かせ、年代をこえた交流もあり、楽しい時間を過ごしました。

最後に、1期生の三浦陽一氏の作詞・作曲による「ハレーボールの歌」と東海大学応援歌を歌い、次は5年後に50周年での再会を約束してお開きとなりました。

◆西脇先生を囲む会を開催

昨年12月1日に銀座の「サンミ高松」にて、恒例の会を開催。今回の幹事はOGだったせいか女子の参加が多く、総勢19人が集まりました。

私たちの学生時代のころと全然変わらないう西脇祐祐先生に久しぶりにお会いして、とてもうれしかったです。大先輩の方々とは、同郷のことや懐かしい思い出、それぞれの近況報告な

会員短信

◆高齢になりましたので、欠席させていただきます。会のますますの発展をお祈りいたします。皆さんよろしく。(藤田卓正 静岡県浜松市) ◆昨年の2月14日、17年卒の穴沢忠義さんが地域社会活動中、脳卒中で逝去されました。95歳でした。穴沢さんは愛校心が人一倍強く、逝去されるまで「たかなわ会」の総会やその他の行事に率先して参加されてきました。昨年4月13日 東海大学望星学塾から「2012年度望星講座 生涯学習奨励賞」の表彰を受けられました。(杉本光雄 東京都武蔵野市)

◆昭和24年3月卒業の現在83歳ですが、元気にボランティア活動で動き回っております。同期は石上彦一、太田満などですが、いずれも先に逝ってしまい、目下、連絡の取れる者がいなくなりまして。元氣でいる間は、社会のために何かしたいと思っております。(荻井雄幸 神奈川県横浜)

◆今回も欠席して申し訳ありません。現在88歳。80代に入り脊柱管狭窄症のため、腰、左腿不自由にて歩行困難となり、どの会合にも参加できず残念です。(宮橋正良 東京都豊島区)

◆元氣にテニス、囲碁、水泳、畑仕事などやっております。当方75歳になりますが、まだまだやることが多くあります。(滝 宣行 神奈川県横浜)

◆当日は親せきが集まる「いとこ会」の旅行と重なるため欠席します。皆さんよろしくお伝えください。(石井康允 東京都板橋区)

◆母校での同窓会、なかなか訪ねる機会もなく残念ですが、退院後の勤務で仕事を欠勤できず、欠席します。ご盛会をお祈り申し上げます。(坂本英一 愛知県早田町)

◆事務局の皆様、いつもご苦勞さます。後輩の会員の人たちも頑張ってください。(小野惣七郎 東京都練馬区)

◆同級生もなく、出席を断念します。一応、元氣で過ごしていますが、年には勝てず体力低下はとうしよともありません。(寺門昭隆 東京都板橋区)

◆今年米寿です。お世話になります。(山崎修 東京都八王子市)

◆年齢相応の不調が出ておりますが、元氣に暮らしております。(前島本治 千葉県柏市)

◆当日はどうしても都合がつかせませんので、残念ですが今回は欠席させていただきます。(立石和雄 東京都八王子市)

◆最近、夜の歩きが非常に億劫になってしまいました。残念ですが欠席です。(村田郁郎 神奈川県横浜)

◆パーキンソン症候群になって以来、去年までは要支援2だった介護が、今年から要介護3にまで悪くなりました。現在はリハビリセンターに週2回通っている状態で、室内でも歩行は困難です。(佐藤昭一 東京都中央区)

◆数10年ぶりにご案内をいただき、当時は懐かしく思っています。残念ながら現在、病後のリハビリ中に出席は無理な状況です。いずれよくなっ

現役学生からの寄稿



OB・OGとの交流を通じて

情報通信学部
バレーボール部部长

濱田桂太郎

(情報通信学部4年)

毎月1回、高輪校舎で開催しているOB会では、OBやOGの皆さんとの交流があります。このOB会は、長年の歴史がある高輪バレーボール部のOB・OGと現役のバレーボール部員が交流できる数少ない場であり、毎回、練習試合や懇談を楽しんでいます。そこではさまざまな話を伺うことができ、私たち現役の学生は大いに刺激を受けています。

交流することにより、人と人との「つながり」ができます。このバレーボール部の縦のつながり、その中で交わされるコミュニケーションは、OB会ならではの素晴らしいところです。

昨年も9月5日から8日まで、群馬県の東海大学嬬恋高原研修センターで私たち情報通信学部バレーボール部の合宿を行いました。今回も西脇昺祐先生をはじめOBの方々をご参加くださり、練習試合やバーベキュー、OBの差し入れによるスイカ割りなどで大いに盛り上がり、親睦を深めました。

このように折々のコミュニケーションは、OB・OGから私たち現役学生へのよい影響だと思えます。



どの話で大いに盛り上がりました。最後は輪になって「建学の歌」やOBが作った「バレーボールの歌」を歌い、絆がいつそう深まりました。またお会い

高輪スノースポーツ部OB会

◆「高輪ウエルカムデー」に参加

昨年11月2日に開催された「第1回高輪ウエルカムデー」に、スノースポーツ部(旧スキー部)のOB・OG

できる日を楽しみにしています。

(幹事・五十嵐正美)

30人が出席しました。このイベントは2012年に「たかなわ会」が東海大学同窓会の公認団体になったことに伴い、企画されたものです。当日は寝食を共にした学生時代の部活動の話題で盛り上がり、親交を深めることができました。ファイナールには全員で肩を組み、「想い出の赤いヤツケ」を斉唱し解散しました。

◆「西脇先生と一杯飲む会」を開催

恒例の会を、事情により1年空けて昨年8月3日の夕方から、「江戸川花火大会」に合わせて開催しました。当日は4・5・8期生たちが集合。折から「土用」とあつてうなぎ巻きとビールで、1万5000発もの大輪の花火に酔いしれました。あまりの美しさに一同感動し、次回ももっと多くのOBに声をかけ合おうと約束し、家路につきました。

(5期生・小幡守)



維持会費の納入について

会員の皆さまには、同窓会の事業活動に対して常々ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本会では、同窓会活動活性化の要望に応えるべく、維持会費制度を設けております。趣旨をご理解の上、納入についてご協力をお願いします。

1. 対象となる会員：入会(卒業)後、5年を経過した方
2. 維持会費：年額1口 2000円
3. 払い込み方法：郵便振替
4. 口座番号：00100-7-702746 東海大学同窓会高輪

※手数料は本会が負担します(窓口は120円、機械の場合は80円)。
※納入者へは、会報への掲載をもって領収の証とさせていただきます。

維持会費納入者(敬称略・50音順)

〒1000000円・口数は省略
2013年4月1日

- | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|-----|------|------|-----|
| 宇野大熊 | 大崎大竹 | 大槻小幡 | 加藤神谷 | 山茅根 | 小林小峰 | 小西神原 | 渡井 |
| 博繁一 | 敏安 | 義則一 | 夫守 | 政芳 | 憲夫一 | 利彰 | 正康 |
| 由文 | 盛吉 | 尚紀 | | | | | |
| 庄田茶 | 木屋屋 | 提督坪 | 内戸 | 豊田永 | 井波野 | 島橋本 | 平田廣 |
| 田藤 | 古川 | | | | | | |
| 秀雄一 | 徳幸 | 滋重 | 夫理 | 康幸 | 満友 | 映南 | 文隆 |
| 靖一 | 朗力 | 進一 | 敏一 | | | | |
| 誠子 | 秀雄 | | | | | | |
| 増田(小) | 弘卓 | 進久 | 富馨 | 出雄 | 中一 | 明治 | 博昭 |
| 牧野 | 南宮 | 本村 | 安次 | 日吉 | 野渡 | 渡辺 | 渡辺 |
| 和田 | | | | | | | |

たかなわ会事務局からお願い

住所変更のご連絡の際は、事務処理上必要ですので旧住所も必ず併記下さいませ。よろしくお願いいたします。

- ◆ たらせび出席させていただきます。皆さんにお会いしたいです。(注 弘 東京都新宿区)
- ◆ 東京通信ネットワーク(現KDDI)を定年退職し、現在は健康第一とダンスに熱中。ダンスパーティーも主催しています。今度は渋谷でも開催したいと思っています。渋谷区在住の方のご協力をいただければありがたいと思います。(藤田 進 東京都北区)
- ◆ 平素ご無礼しておりますのに、たかなわ会総会のご案内をいただき、感動・感謝しております。勝手ながら諸都合により欠席いたしました。役員各位に感謝し、たかなわ会の発展を願います。(大 櫻勝史 京都府綾部市)
- ◆ 高輪と持病で遠出が不自由になり、義理を欠く始末です。皆さんのご健勝をお祈り申し上げます。(森 政二郎 千葉県千葉市)

たかなわ会からのお知らせ

定時総会を開催しました

5月28日の午後6時30分から東海大学高輪校舎にて、来賓に学校法人東海大学から後藤俊郎常務理事をはじめ校友課の皆さま、情報通信学部から吉田正廣学部長をはじめ職員の方の皆さまをお迎えし、参加者40人をもって開催しました。

●議事

- (1) 2012年度事業報告
- (2) 2012年度収支決算報告・監査報告
- (3) 2013年度事業計画(案)
- (4) 2013年度収支予算計画(案)

前記1〜4議案について、原案の通りすべて承認されました。総会ではまた、これまで永年にわたり「たかなわ会」の発展に寄与された松本弘副会長、大竹義則副会長、大木繁さんに感謝状を贈呈しました。

総会終了後は、引き続き同会場にて懇親会を実施しました。

当日の主な議事内容は、以下の通りです。

◆2012年度事業報告について

たかなわ会のある近隣地域との交流やクラブ組織との連携、湘南校舎の建築祭期間中に開催された「ホームカミングデー」に

参加したことなどについて紹介がありました。また、情報通信学部との連携活動として、高輪校舎への参加、同学部バレーボール部の活動へのOB・OG参加をはじめとする在学生との連携や交流、支援などについても紹介。いずれも、効果的な活動として新たな組織連携の可能性が生まれていると総括しました。

具体的な活動報告では、高輪校舎祭の期間中の11月1日に会員71人、招待者を含み100人の参加をもって臨時総会を開催したこと、2日に卒業生の牛島隆徳氏を講師に迎えて、たかなわ会講演会「就活応援 これから社会に出る学生に求められるスキルとは？」を開催したことなどを報告。また、12月16日に品川プリンスホテル・ボウリングセンターで開催した「第14回松前仰杯争奪ボウリング大会・第2回情報通信学部長杯争奪ボウリング大会」の様子などを紹介しました。

◆2013年度事業計画について

東海大学同窓会学部学科同窓会として公認されたことを受け、13年度も引き続き、①高輪校舎の歴史、伝統を引き継ぎ、情報通信学部の発展に寄与する、②同窓会の周知活動、参加会員の増員、強化に取り組む、③情報通信学部支援活動の具体的施策に取り組む、④高輪校舎を発信源とした地域コミュニティ活動に参画する、の4項目を活動の重点事項に設定。具体的には、東海大学の同窓会各支部活動への協力や、情報通信学部生への就職活動支援の推進、たかなわ会各組織間の連携強

2013年度収支予算

2013年4月1日～2014年3月31日

(単位:円)

科目	2012年度決算	2013年度予算	備考
(収入の部)			
会費	1,110,500		
維持会費	227,510	200,000	
広告収入	110,000	110,000	
雑収入	220,650	210,000	
前年度繰越金	8,892,513	8,130,475	
未払い金	100,000		
収入合計	10,661,173	8,650,475	
(支出の部)			
総会・懇親会費	607,890	300,000	
クラス・OB会援助費	100,000	100,000	公認団体
学園渉外費	441,243	300,000	学校行事協力費、学生活動奨励費、学園校友会活動費など
建学祭費	273,958	280,000	
印刷費	706,464	750,000	
会議運営費	209,381	170,000	
消耗品費	15,623	10,000	
通信運搬費	45,619	150,000	郵便料金@130
旅費交通費	0	20,000	定例作業10,000
雑費	130,520	140,000	(会則第26条)
予備費	8,130,475	6430,475	
支出合計	10,661,173	8,650,475	

財産目録

2013年3月31日現在

(単位:円)

現金	25,790
普通貯金	4,882,307
(みずほ銀行麻布支店:口座番号 0040965)	
一般振替口	3,222,378
(高輪郵便局 00100-7-702746)	
資産合計	8,130,475

2012年度収支決算報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

(単位:円)

科目	2012年度予算	2012年度決算	差異	備考
(収入の部)				
入会金				
会費	928,491	1,110,500	△182,009	2000×331名(662,000)+448,500
維持会費	200,000	227,510	△27,510	448,500の明細
広告収入	110,000	110,000	0	5/29総会会費 105,000
雑収入	210,000	220,650	△10,650	7/12歓送迎会会費 55,000
前年度繰越金	771,509	8,892,513	△8,121,004	11/1臨時総会会費 213,000
未払い金	100,000	100,000	△100,000	12/16ボウリング・忘年会 75,500
収入合計	2,220,000	10,661,173	△8,441,173	
(支出の部)				
総会・懇親会費	300,000	607,890	△307,890	5/29定時総会238,290,11/1臨時総会369,600
クラス・OB会援助費	100,000	100,000	0	
学校行事協力費等	450,000	441,243	8,757	
	0	273,958	△273,958	内訳 実行委員会 120,000
印刷費	750,000	706,464	43,536	表彰 90,000
会議運営費	170,000	209,381	△39,381	講師謝礼 20,000
消耗品費	10,000	15,623	△5,623	ポスター・他 43,958
通信運搬費	150,000	45,619	104,381	会議開催15回
旅費交通費	20,000	0	20,000	
基金積立	0	0	0	(会則第26条)
雑費	0	130,520	△130,520	ホームページ作成、旗・横断幕作成
予備費	270,000	8,130,475	△7,860,475	翌年度繰越金
支出合計	2,220,000	10,661,173	△8,441,173	



化などを軸に活動することを確認しました。特に高輪建学祭への参加について、期間中に同窓生、在学生、教職員、地域の皆さま、友人、知人の集いの場として「ウエルカムデー」(2回目以降は「高輪カミングデー」に改称)の開催を提案し、満場一致で承認されました。

◆たかなわ役員

会長 福田 力

副会長 松本 弘 大竹義則 茶木一徳

和田洋治 廣田一郎 古川一敏

宇野匡博 渡辺賢治 野島甫映

事務局長 鷲阪道雄

理事 加藤政芳 金田弥月 難波友彬

飯田卓哉 梅村 聡 福土博之

齋藤大輔 山崎陽子 小西由文

重田勝己 小峰正康 前浜泰行

牧野誠子 大熊敏一 石口武弘

平田 靖 大崎安雄

◆クラス会・OB会の認定団体(代表者)

東海大学高輪硬式テニス部OB会(小峰正康)、昭和36年通本・三翔会(見目宏)、高輪スノースポーツ部(石口武弘)、高輪排球部(廣田一郎)、興亜通信工学院第二部19年卒クラス(柳田繁)、高輪ワンダーフォーゲル部(小西由文)、昭和33・34年卒合同クラス会(大竹義則)

第1回ウエルカムデーを開催

昨年11月1日から3日まで高輪校舎で開催された「第5回高輪建学祭」に参加。2日には4号館地下の学生食堂で、同窓生、在学生、教職員、地域の皆さまなど多くの方々にご参加いただき「第1回ウエルカムデー」を開催しました。会場では東日本大震災の復興支援企画として宮城県気仙沼産の特産海産物やリングなども販売し、多くの会員が買い求めて

いました。

また、3日には同会場で気仙沼漁港から取り寄せた66kgのメバチマグロの解体ショーと実演販売を実施。大勢の来場者でにぎわいました。現地から招いた4人の職人が、見事な包丁さばきで観衆を魅了。マグロは試食としてもふるまわれ大好評でした。



にぎやかにボウリング大会を開催
第15回松前仰杯・第3回情報通信学部長杯

昨年12月15日に品川プリンスホテル・ボウリングセンターで、「第15回松前仰杯争奪(個人)・第3回情報通信学部長杯争奪(団体)ボウリング大会」を開催しました。

今回も、たかなわの会員をはじめ、情報通信学部の学生が多数参加しました。また、同学部の福崎稔教授(高輪教養教育センター)、佐藤弘幸准教授(通信ネットワーク工学科)、故・松前仰先生の奥さまである松前京子さんとお孫さんも加わり、総勢28人で例年に増して盛大な大会となりました。

結果は、個人の優勝が我妻翔平さん(情報通信学部4年)が3連覇、2位が佐藤准教授、3位が神谷芳憲さんでした。団体では1位が会員と現役学生の混成チーム「A-SPORTS」



2位は会員だけの「たかなわ会」、3位は混成チームの「Dを受け継ぐもの」でした。その後、「カルネステーション銀座店」に場所を移して忘年会を開催。ボウリング大会に参加しなかった会員も加わり、総勢40人ほどにぎやかに交流を深めました。

Shuwa

ビルメンテナンスを
通じて人と環境を考える

50th ANNIVERSARY SINCE 1964 秀和ビルメンテナンス株式会社

代表取締役社長 新井義一
<http://www.shuwa-blm.com>

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-2-13 アドバンテック日本橋ビル
TEL 03-3516-1771(代) FAX 03-3516-1772

教育用・医療用機材のコンサルタント

TOKAI E.I.C. 東海教育産業株式会社
代表取締役 杉下道生

本社 神奈川県伊勢原市下粕屋164番地 TEL.0463-92-1881(代)
東京営業所 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目36番6号 TEL.03-3469-2171(代)
伊勢原旅行センター 神奈川県伊勢原市下粕屋143番地 東海大学病院内 TEL.0463-93-3980(代)
湘南旅行センター 神奈川県秦野市南矢名3-10-35 東海大学同窓会館内 TEL.0463-77-3522(代)
ホームページ <http://www.tokai-eic.co.jp/>

電波塔



フランスの思想家ルソーは「子育ては芸術である」と提唱しています。

一般的に考えれば、子づくりは誰にでもできますが、子育ては、親にとっては難問だらけです。自分の幼子が言うことをきかないからといって、折檻して殺してしまったり、自分の欲望を満たすために子どもを何日も部屋に放りっぱなしにして餓死させたり……という残酷な事件を耳にするたびに、胸がつぶれる思いです。

しかし、世の多くの親たちは、我が子の健やかな成長を願って、日夜、育成に努めています。

その根幹となるのは、やはり教育です。「教育の機会均等」などが叫ばれて久しいものの、実際には難問続きです。学業など成績が優秀な子弟でも、母子家庭などの貧困家庭では進学せっかんの機会に恵まれないことも多いからです。

そこで望まれるのが、高校の授業料無償化制度の拡充や、大学などの奨学金制度の規制緩和などです。

塾業界の一部では、成績が優秀な生徒に授業料の免除や割引などの特待生制度を設けているところもあります。今や塾業界は教育界の有力なサポーターとして、「子育てのお手伝い」をしているのです。

ある調査によれば、昨年度の日本の教育産業の市場規模は2兆4千億円なのだとか。これは、自動車産業のスズキ株式会社の年間売り上げとほぼ同じくらいです。

現在、塾・予備校は全国に約5万2千軒あり、そのうち、法人格を持つものが約2千軒といわれています。市場規模は小さいですが、事業内容には壮大なものがあります。それは、日本の



塾は楽しい学習の場

将来を担ってくれる人材の育成に尽力しているからにはほかなりません。

近年は、公立中学校の校長の多くが「塾の手を借りたい」と思っているといわれており「学校と塾は力を合わせられる」とも感じているそうです。これは、国立教育政策研究所が、平成22年度から24年度にかけて全国の公私立中学校の校長にアンケート調査をした結果で、20年ほど前に比べ、塾の役割を好意的に評価する校長が大きく増えていたことがわかったそうです。

このように、今や塾は地域との共存共栄を図っていく時代になっています。中には学童保育を開設して、「遊びと学び」の場を提供している塾もあります。大学も全国の施設を活用して学童保育を採り入れるなど、社会貢献をしながら将来の学生確保への道筋を図ってみてはいかがでしょうか。

いずれにせよ、日本の将来を担ってくれる子どもたちを社会全体で支え合って、大切に育てていけることを切に願っています。

(K)

たかなわ会同窓会報 高輪だより
第42号

発行日 2014(平成26年)2月13日

発行所 たかなわ会

住所 東京都中央区明石町3-11

TDSビル2F-B

株式会社DNS内「たかなわ会」

電話番号 050-3366-1101

FAX番号 03-3546-7010

takanawakai1937@yahoo.co.jp

http://takanawakai.jp

www.kohoku.co.jp

わたくしたち港北出版印刷株式会社はつねに時代を先取り、情報のプロデューサーとして、確かな技術と知識をもってお客様のニーズにお応えします。

 港北出版印刷株式会社

本社	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-7-7	TEL.03(5466)2201(代表)
甲府営業所	〒400-8558 山梨県甲府市高堂町15 横河電機(株)甲府事業所内	TEL.055(244)0468(代表)
関西事務所	〒530-0001 大阪府大阪市北区船場2-4-4 クリーゼタワービル21F	TEL.06(6341)1506(代表)
府中工場	〒183-0026 東京都府中市南町5-38-12	TEL.042(352)7760(代表)
田無工場	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-1-24	TEL.042(462)6485(代表)
伊勢原工場	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-1-24	TEL.042(462)6599(代表)
堺区工場	〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32 横河電機(株)内	TEL.0422(56)1731(代表)
三ツ木工場	〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-9-8 目黒F2ビル	TEL.03(5794)1050(代表)